

報道関係者各位

2026年3月6日  
ビット・パーク株式会社

## 3月11日は「防災意識を育てる日」 避難所開設の負担軽減と住民の迅速な避難に貢献する防災DX 能登半島地震の被災地で活用された避難所のリモート開設ツール

デザイン制作・システム開発を手掛けるビット・パーク株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役：野口 修）は、Web・グラフィック・コンテンツ・動画・IoTソリューションなど幅広い業務を一社で担うデジタルクリエイティブ企業です。モットーは「+ Something」。顧客に嬉しい驚きを届ける提案を心がけています。

2015年頃から、小型GPS端末を活用し、当社が独自開発した位置情報サービスを提供してきました。子どもの見守りや徘徊高齢者の探索など、多くの方々にご利用いただき、「人の安全を位置情報で守る」という実績を積み重ねてきています。この経験を通じて、端末単体にとどまらず、複数の機器を一元管理し、防災や地域安全に役立つ仕組みを作れないかと考えるようになりました。そうして、開発をしたのがリモートで鍵の解錠・施錠管理を可能にした「ココBOX」です。



※現在は、初号機の「ココBOX」のアップグレード版「ココBOX II」が標準型

### リモートの鍵管理で“安心”を届ける「ココBOX」

当社が提供する「ココBOX」は、リモートで鍵の解錠・施錠ができる鍵収容箱です。複数拠点に設置された鍵をクラウド上で一元管理でき、地図連動の直感的な画面から「待機中」「解錠中」「開扉中」の状態をリアルタイムで確認可能です。また、「一括解錠」と「個別解錠」の2モードに対応しており、緊急時や日常的な運用シーンにも柔軟に対応できます。鍵を管理する担当者の心理的・物理的負担を軽減し、災害発生時の迅速な対応をDXにより実現。安全と効率を兼ね備えた鍵管理を提供します。



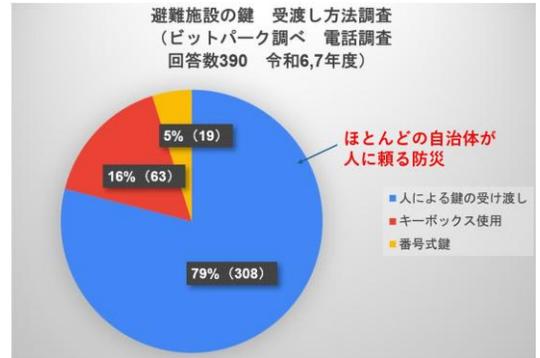
ココBOXの導入前と導入後の違い

## 開発のきっかけとなった2つの台風

2019年、関東地方を直撃した台風15号・19号では、利根川水域の氾濫や送電線の倒壊など甚大な被害が発生し、多くの住民が避難所に押し寄せました。

当時は、避難所の開設には「学校や施設の鍵管理者が現地に駆け付け、物理的に鍵を開ける」という手順が一般的。大規模災害のさなか、鍵を持つ担当者が危険を冒して現場に向かわざるを得ないという、極めてアナログで非効率な仕組みであることが浮き彫りになりました。

こうした課題を前に、「災害発生直後に、より安全かつ迅速に避難所を開放できる仕組みをつくれなにか」という思いから開発したのが、IT技術を活用したりリモート鍵収容箱「ココBOX」です。



避難所の鍵の受け渡し方法（当社調べ）

## 「人に頼る防災」から「デジタルで常に備える防災」へ

「ココBOX」は、【発災時の迅速な対応】と【少子高齢化】、2つの社会課題の解決に貢献します。

### 1) 避難所の迅速な開設

当社の「ココBOX」を導入いただいた佐渡市様では、能登半島地震の発災直後、「ココBOX」による鍵の受け渡しを行い、スムーズに避難施設を開設し、住民の安全確保に貢献した実績があります。災害が発生したらその初動の時点ですべての「ココBOX」を一斉に解錠できるのが大きな特長です。



複数の避難所に設置した「ココBOX」の解錠・施錠を一元管理

### 2) メールに連動していち早く住民に周知

実際の災害発生直後は危機管理担当の業務負担がたいへん大きく、市内の災害状況の把握、対応、危機管理対策本部の設置から、避難所の開設など多岐にわたる対応が求められます。避難所の開設状況や住民への正確な情報提供など、避難所の開設に関する多くの対応は「ココBOX」に集約することが可能です。

### 3) 少子高齢化が進む自治体へ防災DXの仕組み提案

全国の約8割の自治体では（当社調べ）、いまだに災害が発生したら危険を冒して誰かが鍵を持って避難所を開設しにいかねばならないケースが見受けられます。また高齢化に伴い、鍵の預かり手（引き受けてくれる人）がいない、なかなか見つからないというケースも耳にします。

当社では、少子高齢化社会における防災ではIT技術を活用し、「人に頼る防災」からいざという時にいつでも迅速に対応できるよう「デジタルで常に備える防災」を提案しています。

こうした状況の中で、ITの力を駆使して、防災DXの一つとしてのツールを開発することは、

- ・ 災害時における住民の迅速な避難と安全確保
- ・ 自治体職員の避難所開設業務の負担軽減

という災害対応の初動を支援します。これにより、地域のレジリエンス（防災力）を高めることに繋がります。

## 取り組み実績

### ★2024年 能登半島地震 発災当日2,830人の住民の命の安全を守りました

震度5強という地震に見舞われた新潟県佐渡市では、導入していた「ココBOX」28台が自動解錠とリモート解錠により正常に動作し、避難所の迅速な開設を支援しました。これにより、発災当日に住民2,830人の安全を守ることができました。

佐渡市では、日頃から防災練習などの際に「ココBOX」を演習に組み入れ、安全・確実な鍵の受け渡しから避難施設の解錠までを住民と連携して取り組んでいただいています。

### 導入実績：新潟県佐渡市様 全島導入

- 2021年3月に28台導入（小中学校・公共施設）
- 2024年 能登半島地震で稼働
  - - 9台が地震検知による自動解錠
  - - 残りは職員によるリモート解錠
- **2830人の住民の安全を確保**



### ★ジャパンレジリエンスアワード（強靱化大賞）2025 優秀賞を受賞

新潟県佐渡市の実績などが評価され、優秀賞を受賞しました。



### ★Tokyo Social Innovation Tech Award 2025 奨励賞を受賞

## 今後の展望

全国の避難所（指定避難所数：約9万箇所、避難タワー等含めると約10万箇所以上となる見込）の遠隔通信と各種センサーの連携のためのハイエンドな情報ハブを目指しております。

現在、さらなる機能拡充を進めており、以下の対応を行っています。

- ★QRコード読み取り機能によるマイナンバーカードやIDコードの読み取り機能（開発中）
- ★Jアラート連携一斉解錠機能（実現済）
- ★停電時対策として無停電源電源装置の実装（実現済）
- ★施設予約システムとの連携（実現済）
- ★鍵の内在管理（実現済）

災害発生時だけでなく、フェースフリーで平時の場合にもご利用いただけるような、防災DX機能を満載した情報ボックスを目指しています。

## <会社情報>

ビット・パーク株式会社は、Web制作、グラフィック制作、コンテンツ制作、システム開発、ネットワーク運用、動画制作、ノベルティ制作など、幅広いクリエイティブと技術領域を一社で担う制作会社です。GPSを活用した位置情報サービスやファイル転送サービスなど、オリジナル製品の企画・設計・販売・運用にも積極的に取り組んでおり、「+ Something」の精神で新しい価値と可能性を追求しています。

会社名：ビット・パーク株式会社

所在地：東京都目黒区緑が丘2-5-10

代表者：代表取締役 野口 修

設立：1994年3月

資本金：1,000万円

従業員数：25人

事業内容：Webサイト制作/グラフィックデザイン/システム開発/ソフトウェア開発/ネットワーク構築・運用

## <本件に関するお問い合わせ先>

ビット・パーク株式会社 広報担当：遠藤

TEL：03-3725-7075 / MAIL：info@bitpark.co.jp

営業時間：平日10:00～18:00（定休日：土日祝）